

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
文学	<p>哲学専攻</p> <p>本専攻の目的に即して、理論哲学と実践哲学のどちらを中心にするにしても、両方の統合に努力し、社会における諸問題に関して統合的哲学研究を通して解決する能力を有する人材の養成に努めるべく、それにふさわしい知識、能力、意欲のある人材を受け入れる。</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 問題の中心的な課題を見出すための知識のある者 (2) 解決の選択肢を複数個設定することのできる能力のある者 (3) 上記に必要な持続的な作業を支える意欲のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 西洋哲学の専門領域に関する高度な知識を有する者 (2) 研究遂行のために必要な語学力を有する者 (3) 優れた文献読解能力と理論構築能力を有するか、もしくは実践領域における優れた実績を有する者 (4) 西洋哲学研究を深化、発展させ、その成果を研究論文の執筆・発表、あるいは、実践を通して広く社会に還元する意欲のある者
	<p>インド哲学仏教学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 当該分野に関して基本的で広汎な知識のある者 (2) 誠実で自らを律しながら研究に取り組み、研究資料を十分に読解し、その成果を体系的に表現できる能力のある者 (3) 研究対象に主体的に真摯に取り組み、必要に応じて協働で研究するなどの意欲のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 当該分野に関する広汎かつ高度な知識と研究動向についての知識のある者 (2) 研究領域に関わる語学能力と独創的研究に耐えうる能力のある者 (3) 自立的に研究を進め、研究者としての社会的倫理性を高める意欲のある者
	<p>日本文学文化専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本語・日本文学の基礎知識のある者 (2) 文学の基礎的読解力、外国語・漢文の基礎的能力のある者 (3) 国際的視野に基づく文化の継承と創造への参画に意欲のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高度な専門知識と論理性を持つ修士論文を執筆できる能力を有している者 (2) 日本語・日本文学の専門知識のある者 (3) 外国語の基礎的能力のある者 (4) 国際的視野に基づく文化の継承と創造への参画に意欲のある者
	<p>中国哲学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中国哲学・中国文学・中国語に関する基礎的知識のある者 (2) 文献の基本的読解能力をもち、文献を扱う基本的な訓練を経ている者 (3) 中国哲学・文学研究に、専門的に取組もうとする意欲のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中国哲学・中国文学・中国語に関する高度な知識のある者 (2) 優れた文献読解能力を持ち、文献の扱いに習熟した能力のある者 (3) 中国哲学・文学研究を深化させ、研究成果を研究論文の作成を通して発表してゆく意欲のある者

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
文学	<p>英文学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本的な英語運用能力と英米文化に関する知識のある者 (2) 自己啓発に熱意をもって取り組む能力のある者 (3) 誠実に自らを律しつつ、研究に取り組む意欲のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程修了程度の英語運用能力と英米文化に関する知識のある者 (2) 創造的研究に耐えうる能力のある者 (3) 研究者として社会的倫理性を高めようとする意欲のある者
	<p>史学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史について基本的な知識のある者 (2) 史料の解読能力、総合的な思考力・判断能力があり、学修成果を正確に伝えるコミュニケーション能力のある者 (3) 歴史研究の基礎となる専門的な知識や歴史学的な研究方法を、主体的に学ぶ意欲のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史についての基本的な知識、専門とする領域についての専門的な知識のある者 (2) 歴史学的な研究方法を修得し、優れた研究能力があり、新たな知見を学界・社会に伝えるコミュニケーション能力のある者 (3) 歴史について広い視野と深い学識があり、研究に主体的に取り組む意欲のある者
	<p>教育学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育学や心理学のほか現代の教育問題や関連諸分野についての一般的知識のある者。 (2) 文献読解や論文作成、調査など研究に必要な基礎的能力のある者。 (3) 教育に対する深い関心と広い視野を持ち、真理の探究と研究を通じた社会貢献に対して意欲を持つ者。 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育学や心理学のほか現代の教育問題や関連諸分野についての広範な知識のある者。 (2) 文献読解や論文作成、調査など研究に必要な能力のある者。 (3) 教育に対する深い関心と広い視野を持ち、真理の探究と研究を通じた社会貢献に対して高い倫理観と志を持つ者。
	<p>国際文化コミュニケーション専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 英語をはじめとする外国語の基本的な運用能力を有し、かつ一層の向上を目指す意欲のある者。 (2) 多言語多文化に対する基礎的な専門知識を有し、かつ一層の探究心を有する者。 (3) 国際社会の中で活躍するための積極的で柔軟な適応能力を有する者。 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 読解力、会話力、表現力、思考力などにおいて、高度な外国語による高度な運用能力を有する者。 (2) 多言語多文化に対する専門的知識と理解力を有する者。 (3) 国際社会の中で活躍しうる自律的な研究能力と実践力を有する者。

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
社会学	<p>社会学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 現代社会が直面している諸問題に関する知識のある者。 (2) 客観的かつ論理的なものごとを考え、自ら研究テーマを設定し研究を遂行していく能力のある者。 (3) 関連分野における専門的知識を身につけ、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探求しようとする意欲のある者。</p> <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会学・文化人類学・社会情報学およびその関連分野における研究成果と実証的研究方法についての知識のある者。 (2) 国際的な視点に立って独創的な研究を遂行する能力のある者。 (3) 関連分野における高度な専門的知識と研究遂行能力を身につけ、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探求し、社会に貢献しようとする意欲のある者。</p>
	<p>社会心理学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会心理学が、個人と社会に関するどのような現象を研究対象としているのかについての知識のある者。 (2) 直観や常識だけに頼らずに、客観的かつ論理的なものごとを考えることのできる能力のある者。 (3) 社会心理学のさまざまな研究成果を学び、それに基づいて自らの研究テーマを深く探究しようとする意欲のある者。</p> <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会心理学のさまざまな研究成果や、さまざまな実証的研究方法についての知識のある者。 (2) 国際的な視野に立って、自らの研究テーマを設定し、実証的研究を進め、成果を公表できる能力のある者。 (3) 社会心理学に関する高度な専門知識と研究遂行力を身につけ、研究や教育を通して社会に貢献しようとする意欲のある者。</p>
法学	<p>私法学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 法学の各専門分野についての学問的基礎のある者 (2) 柔軟な発想力、法的問題点の発見力、効率的情報処理能力、合理的解決力を有する者 (3) 私法学研究に興味をもって取り組む意欲のある者</p> <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 博士後期課程において、研究活動を行うのに必要な法学研究専門分野における豊かな学識を備えた者 (2) 論文作成能力のための高度な能力のある者 (3) 私法学分野の研究者として自立して持続的に研究活動に従事することを目指す意欲のある者</p>
	<p>公法学・政治学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 法学の各専門分野についての学問的基礎のある者 (2) 柔軟な発想力、法的問題点の発見力、効率的情報処理能力、合理的解決力を有する者 (3) 公法学研究に興味をもって取り組む意欲のある者</p> <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 博士後期課程において、研究活動を行うのに必要な法学研究専門分野における豊かな学識を備えた者 (2) 論文作成能力のための高度な能力のある者 (3) 公法学分野の研究者として自立して持続的に研究活動に従事することを目指す意欲のある者</p>

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
経営学	<p>経営学・マーケティング専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営学及びマーケティングの基礎知識並びに調査・研究に必要な能力を有する者 (2) 専門知識を駆使して問題解決に取り組む意欲があり、さらに自己研鑽を怠らず他人の意見を吸収する柔軟性を持った者 (3) 物事への探求心が旺盛で、グローバルかつ地域コミュニティにおいても貢献する意思のある者 (4) 将来、国内外の学界や企業等の経営体で活躍する研究者、教育者、高度専門職業人を目指す者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営学及びマーケティングの高度な専門知識並びに調査・研究に必要な能力を有する者 (2) 専門知識を駆使してグローバル化、サービス経済化など、社会における問題解決に取り組む意欲があり、さらに自己研鑽を怠らず他人の意見を吸収する柔軟性を持った者 (3) グローバルな視点に立って、経営学及びマーケティングについて、ディシプリンに基づく高度かつ独創的な研究をさらに進めようとする意思を有している者 (4) 将来、国内外の教育研究機関、企業、各種組織などにおいて指導的な研究者を目指す者
	<p>ビジネス・会計ファイナンス専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「企業家・経営幹部養成コース」では、現場の第一線で活躍するビジネスマン、経営コンサルタント、起業家、経営管理者等を目指す意欲及びそのための経営学の基礎知識、論理的思考力を有する者 (2) 「会計ファイナンス専門家養成コース」では、公認会計士、税理士、CFO、証券アナリスト等の国家資格取得を目指す意欲及びそのための会計ファイナンスの基礎知識、論理的思考力を有する者や、会計・財務、銀行・証券・保険業務等高度職業会計人としての能力向上を目指す意欲及びそのための会計ファイナンスの基礎知識、論理的思考力を有する者 (3) 「中小企業診断士登録養成コース」では、日本社会を支える中小企業を支援し、発展させる強い志を持ち、コンサルタントを目指すための経営学の基礎知識、及び対話により課題を把握し、その解決方法を伝えるためのコミュニケーション能力を有する者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 自立した研究者として、創造性豊かかつ高度な研究能力を有し、各種研究機関や企業、各種組織体においても主任研究員等として専門領域を指導できる卓越した高度専門家職業人としての潜在的および顕在的能力を有する者 (2) 社会にとって有用な研究を公正に行うことのできる価値観と、研究を通じて社会の発展に寄与する使命感を有する者
経済学	<p>経済学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、口述試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経済学に関する基礎的な知識のある者 (2) 論理的に考え、発表・論議する能力のある者 (3) 社会・経済の諸問題に高い関心を持ち、問題発見・解決するための意欲がある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経済学に関する総合的かつ高度な知識のある者 (2) 専門分野における優れた問題発見、分析などの研究能力及び論文作成能力のある者 (3) 将来研究者として自立し、大学および他の研究機関等において研究活動を継続する意欲のある者
	<p>公民連携専攻</p> <p>【修士課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、事前課題、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 一般入試においては、専門分野にかかわらず地域経済社会に対する一定の見解を有している（事前課題に関する口述試験で判断する）とともに、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する）。 (2) 社会人入試においては、公民連携に関連する分野での経験があるかもしくは今後担当する可能性があり、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する）。 (3) 海外からの留学生に関しては、本国において、公民連携に関連する分野での経験があるかもしくは今後担当する可能性があり公民連携に関する一定の見解を有している（事前課題に関する口述試験で判断する）又は、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する）。 (4) 公民連携に関する豊富な経験や知識を有し、プロフェッショナルとして活動するための具体的な研究計画を有している者（専攻所定の研究計画書及び面接で判断する）。

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
国際学	<p>グローバル・イノベーション学専攻</p> <p>【修士課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示したものを受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) イノベーションを通じてグローバル社会に貢献しようとする起業家精神をもち、そのための実践的知識、英語を駆使した専門的能力、およびリーダーシップの獲得を目指す者。 (2) 将来、国内外の学界や企業及びNGO・NPOなどの組織で活躍する、研究者、教育者、高度専門職業人を目指す者。 (3) 現代社会におけるグローバルな課題に関する理解と課題解決のための基礎的な調査研究能力を有し、今後積極的に自己研鑽を怠らず積極的に取り組もうとする者。 (4) 積極的に国際的に発信するために必要な学問的基盤を有し、また、その知識を実践活動に転換するための分析能力・遂行能力を有する者。 (5) 日本人学生と外国人留学生が共存する環境のなかで、同じ目的を持って学ぶことができる、多様性への寛容な精神、及び協調的なコミュニケーション能力を有する者。
	<p>国際地域学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国内外の地域の現状と課題に対する知識のある者 (2) 地域の現状と課題を理解し分析できる能力のある者 (3) 国内外の地域の課題の理解と解決、およびそのための調査研究に自らが積極的に取り組む意欲のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国内外の地域の現状と課題に対する幅広い知識があり、かつ専門とする分野に関する知識や分析手法を身につけている者 (2) 地域の現状と課題を理解し分析し、それを成果としてまとめる能力のある者 (3) 国内外の地域の現状と課題に対して、大局観を持ちつつ、その解決のための調査研究および実践に研究者として自立して取り組む意欲のある者
国際観光学	<p>国際観光学専攻</p> <p>【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国内外の観光学分野における課題に取り組み、改善・解決策を提案するための基礎知識を有する者 (2) 観光の現場で求められるニーズに対応するため、英語をはじめとした語学の知識を有する者 (3) 観光分野とくにホスピタリティ産業を牽引する経営幹部を目指し、グローバル化による多文化共生社会において文化や経営の哲学を含めて観光実務に携わる能力のある者 (4) 国内外における地域づくりや国際観光の発展にかかわる諸問題の解決及び調査研究に自らが意欲的に取り組む意思のある者 <p>【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国内外の観光産業・観光政策・観光開発のいずれかにおける研究あるいは実践した経験や知識のある者 (2) 英語にはじまる国際語を駆使してグローバル観光分野の研究に励み、観光学分野へ成果を還元できる能力のある者 (3) ICTを活用し、複雑化していく社会の動向に常に前向きで研究できる能力のある者 (4) 国内外における地域づくりや国際観光の発展にかかわる諸問題の解決及び調査研究に対し、高い志を抱きつつ、自らが意欲的に取り組む意思のある者 (5) 持続的な社会の発展のためにこの新しい実証的な学問を追究し、修了後も引き続き研究を発展継続させて行く意欲のある者